

## 令和2年11月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

景況DI値は、ここ2ヶ月連続で好転していたが、11月は再度悪化に転じ、低い水準で停滞した状況が続いている。

国や地域によるGoToキャンペーン等の景気刺激策の効果で、売上が増加し、回復の傾向がみられるとの報告がある一方、長引く新型コロナウイルスの影響により、受注や売上の減少が続き、収益の確保が困難とする報告も多い。

11月には、県内においても新型コロナウイルスの感染が拡大し、全国的に「第3波」が到来する中、業種を問わず、年末年始に向けて再び経済活動が縮小することを危惧する声が多く、先行きに対する不安感が増大している。

### 山口県の主要指標DI値（令和2年11月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況  $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI値}$

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：53.8% DI値：▲53.8% ポイント

売上高  $(\text{増加} - \text{減少}) = \text{DI値}$

前年同月比は、増加：10.0% 減少：60.0% DI値：▲50.0% ポイント










収益状況  $(\text{好転} - \text{悪化}) = \text{DI値}$

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：57.5% DI値：▲53.7% ポイント

### 山口県の業種別DI値(業界の景況)（令和2年11月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲66.7	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲33.3	▲25.0	0.0	▲45.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲100.0	▲75.0	▲72.7	▲27.3	▲42.9	▲100.0	▲59.6	▲53.8
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	例年であればクリスマスモードが盛り上がり、ケーキの購買意欲が高まるが、本年は予約の出足が鈍い。新型コロナウイルスの状況が読めず、年末年始が非常に不安である。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	新型コロナウイルス感染者の増加で、飲食店関係の売上が不調。	パン・菓子製造業 下関市
	10月の店舗売上合計は対前年+30.4%と大幅に伸びた。11月は11/24時点で対前年+27.8%と引き続き順調に推移している。萩市独自のお買い物クーポンおよびGoToトラベルの地域共通クーポン・GoToEat食事券の効果が如実に現れた。(売上に占めるクーポン比率は約25%) 今後についてはコロナ第3波による影響や、萩市のクーポンやGoToキャンペーン終了後の反動減が心配。	水産食料品製造業 萩市
	徐々にお客の動きが見られるようになってきた。年末が近づき各事業所も少しずつ忙しくなってきた模様で、従業員は休ませても経営者は第一線に立ちとても頑張っているが、長時間労働が心配である。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和され、11月末には外国人技能実習生が入国できた。ただし、入国できる空港が限られており、福岡空港の便はほとんどないので、早く便が増えることを願っている。	水産食料品製造業 下関市
	11月の売上減少幅は対前年同月比60%前後と、10月よりは戻りつつあるが、業態によれば原料事情、需要の低迷などによる落ち込みから100%の回復には届かないのが現状。GoToトラベル・GoToEatと経済改善政策による回復を待つところであったが、感染者の増加により期待ができなくなった。年末商戦が一つの物差しになると考える中で、直近の自粛の効果が出て感染者が減少するのであれば、そのリバウンドに期待できると考えている。反対に感染拡大に転じるならば、予測が立たない別次元の問題が起こるようで怖い。	

	<p>新型コロナウイルスの自粛ムードで各種イベントが中止となり、経済活動の厳しい状況が続いている。今後は、ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行していくための中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、新型コロナウイルスが蔓延して、感染爆発をおこさないように、検査体制の拡充、クラスターの早急な把握と感染者の迅速な隔離が必要だと考える。また、今後のコロナ対策に関しては、国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。今年度は、中国などの大陸から稲の害虫、ウンカが多数飛来し、山口県の作況指数は「73」の全国最低となった。コロナだけでなく、大陸から飛来する害虫対策も必要である。政府は脱炭素社会の実現を図ることを正式に発表した。2030年代にガソリン車を原則廃止するなど、水素社会への実現に向けた大幅な改革が必要となる。バスなどの公共交通機関やトラック運送については、燃料電池車に切り替えるなど積極的に取り組む必要がある。また、現在、稼働していない原子力発電についても、極力稼働させるようにし、自然エネルギーの利用も含め、火力発電の比率を、将来的には0にするぐらいの改革も必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>新型コロナウイルスの影響で生産ロットが小さくなっている。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山口市</p>
	<p>外国人技能実習機構は検定試験の受験を重要項目としているが、婦人子供服で入国している技能実習生の2級検定試験が山口県では対応できていない。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山陽小野田市</p>
木材・木製品	<p>組合としての仕事は全くないが、持続化給付金が支給され、組合のホームページも作成するので、頑張っていきたい。</p>	<p>製材業・木製品製造業 岩国市</p>
	<p>組合員の11月売上は対前年同月比で平均20%程度の減少。10月よりも若干上昇傾向である。</p>	<p>製材業・木製品製造業 下関市</p>
印刷	<p>印刷業界における受注状況は前年比でみれば減少している。GoToトラベル、GoToEatキャンペーン等の政策により、チラシ、チケット等の受注が発生することで次第に改善、増加傾向にあるものの、冬場を迎えてコロナ第3波流行が懸念されており、安心はできない状況である。いずれにしても、今年度の業績はコロナに起因して全体的に悪化していることから、国、自治体等の継続的な支援は必要不可欠である。</p>	<p>印刷 下関市</p>
	<p>イベントも増え始めてきたが、ここに来て感染者が増え始め、先行きが不安。</p>	<p>印刷 山口市</p>

窯業・ 土石製品	出荷量は、 (令和元年11月) 骨材 83%、路盤材 96%、再生材 87% ↓ (令和2年11月) 骨材 85%、路盤材 67%、再生材 99%	砕石製造業
	出荷量は、前月比123%、前年同月比93%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	昨年度は特需工事が複数あったため、今年度売上高は減少となっている。	生コンクリート製造業 周南市
	新型コロナウイルスの第3波に伴い営業活動に支障が出てきそうであるが、既に来年の仕事の依頼が入ってきている事業所もある。	石工品製造業
	11月もGoToトラベルキャンペーンの恩恵で、10月に引き続いて市内観光客は、個人・家族での旅行客を中心に大幅に増加し、売上も昨年同月を大きく上回った。団体客についても昨年と同程度まで回復。市内小売は120%から200%となっている。百貨店や大都市小売店、ギフト関連の受注(卸販売)はあまり回復せず、前年比50%程度となっている。小売・卸を合わせた売上は、前年比と同等かそれ以上。利益率のいい小売が増えたため、全体の収益は昨年同月を大きく上回った。「やきものワールド(名古屋)」では当組合から3社が出展したが、新型コロナウイルスの感染拡大(第3波到来)の影響で入場者が大幅に減少し、28日時点の売上も半減している。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	実習生が入国できない。次回受け入れが出来ず困っている。引き続きリモート面接に変更し対応している。	一般機械器具製造業 岩国市
	10月まで続いていた周南コンビナートにおける大型定期修理期間が終わり、少し落ち着いた様子。心配していた仕事量の減少もなく、例年通りの売上を保っているところが多い模様だが、先行きは不安なところが多い。	一般機械器具製造業 下松市
	10月には一部の企業が複数日休業していたが、11月は解消していた。	一般機械器具製造業 周南市
	山口県内の新型コロナウイルス感染者が増加傾向にある。建設関連は10月とほぼ同様の動き。マツダ関連では引き続き受注難。中国と取引のある組合員は、来年夏まで法定内の残業をしながら稼働の予定である。当組合もだが、コロナ蔓延の世界の情勢に影響を受けるので、今後の感染状況に注目し対処しなければならないと考えている。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>新型コロナウイルスの蔓延による若干の影響はあるが、全体的に事業確保は出来ており事業の見通しが立ちつつある。また、コロナ後を見据え実習生の増員を予定している企業もある。介護、スーパーについては人手不足感が顕著である。年末にかけて食品加工も残業が増えてきている。なお、レジデンストラックが継続しているため、2週間の隔離、公共交通機関の不利用等不便な状況ではあるが、技能実習生の入国も始まり正常な状況に近づきつつある。帰国についても徐々に始まってきたため、企業によっては次期の外国人技能実習生の早期入国を希望してきている。</p> <p>大きな変化は見られないが、全国的に感染が拡大する中で今後の予想がつかない状況にある。組合員が集まらず情報の共有が難しい。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	鉄道車両関係は概ね良好。半導体は当初の予定よりは多少受注が減少している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。新型コロナウイルスの流行による取引各社の操業度の落ち込みがあり、受注の落ち込みがある。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	11月の倉庫売上は、昨年と比べほぼ横ばいであり、状況に変化はない。	乾物卸売業
	新型コロナウイルスの影響で来店客が減少し、売上減少により収益の確保が難しい。	各種商品卸売業
小売業	GoTo トラベルの影響で、外出する女性も増えたためか、県全体で、アイメイクやチークを購入する人が増えてきた。本年春頃にリニューアルの予定であった山陽小野田市のお店が、新型コロナウイルスの影響を受け遅れてオープンした。新しいブランドも入り、お洒落で客にとっても楽しい店となっている。感染予防対策は徹底しているが、寒くなり新型コロナウイルスの感染者が増加する中で、営業するのが怖いと口々に話している。	化粧品小売業
	例年、農閑期の11月は大規模展示会のシーズンであるが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催しない組合員が多く、小規模の展示会を開催するも、当然、大規模展示会ほどの売上は望めず、売上は減少。	農業用機械器具小売業
	大型店のチラシ等で価格が低下、11月はイベントも開催しなかったため売上高も減少、前年比で95%。	機械器具小売業
	11月中旬に商店街の隣接地域でクラスターが連発。予想を遙かに上回る甚大な打撃を受けた。飲食店は開店休業か閉店。人通りは1/10以下に落ち込み、年末の忘年会予約は二桁件数の勢いで総キャンセル。継いで著名店の閉店・廃業が相次ぎ、市況は劣悪に落ち込む。11月後半は悪夢のような毎日であった。風向きが変わ	各種商品小売業 岩国市

	るのを待つばかりである。	
	商店街への来街者は、例年 11/23 開催の『こどもっちゃ商店街』が中止となったため駐車台数ともども減少している。また、組合員への共通駐車サービス券の販売が減少し、感染の増加に伴い夜間の駐車利用が減少している。売上は前年同月比でおよそ 40%の減少。	各種商品小売業 周南市
	少しずつ以前のような状態に戻りつつある。年末に向けて、プレミアム商品券販売&大歳の市を開催する予定であり、益々活気が出てくるのではないかと期待している。様子を見て、「GoTo 商店街事業」にも挑戦する予定である。	各種商品小売業 下関市
商店街	新市長が決まり、前市長の施策の踏襲はしないとの方針。今後の市街地計画の成り行きに期待と不安が半々である。	宇部市
	10 月位迄は、多少来街者が増えて来たようであったが、山口県の新型コロナウイルス感染者の増加により来街者が減少傾向で、店主は困惑状態である。「年末には『たまち商品券』で多少賑わうのではないかと期待はあるが、先が見えないので、商売の方法を再検討しなければ」と、店主が話す厳しい状況である。	萩市
サービス業	11 月は、山口湯田温泉、岩国の麻里布町とクラスターが発生し、県全体が穏やかではない月となった。その地域での全てのイベントが中止になるなど、組合員のお店は大きな打撃を被った。それ以外の地域は大きなイベントはないものの業況は平年通りである。	美容業
	新型コロナウイルス感染症が急増する中、再度「自粛ムード」となり年末年始が心配である。	理容業
	本年 4 月から自動車新車販売台数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から対前年比マイナスで推移してきたが、10 月はどうにかプラスに転じたが、昨年の 10 月は、消費税増税の影響で販売台数が大きく落ち込んでいたことから、対前年プラスを喜んでいられない状況にある。その中で、各メーカーも新型車を順次発表するなど、自動車業界にとっては先行きに明るい兆しが見えてきているように思える。	自動車整備業
	コロナウイルスの影響下、まだ回復はせず、悪化したまま横ばいである。中には廃業もあると聞いている。	スポーツ・健康教授業
	11 月は GoTo トラベルの利用が目立ち、旅館のシーツなどを取り扱う同業者の中には売上増加のところもあった。しかし、一般消費者の衣類に重点を置く業者は、秋の衣替え需要の不振により売上は前年同月比で大きく落ち込んだところもある模様。全国的に新型コロナウイルス感染拡大の第三波が来ているということだ	普通洗濯業

	が、県内も例外ではなく、今後感染者が増え続けると、今年の春と同様の大きな落ち込みも懸念される。	
	10月はややお客が戻ってきた感じであったが、再度の新型コロナウイルス感染拡大により、集客激減となった。	飲食業
	新型コロナウイルスの第3波の影響で、11月も前年同月比で売上80%の減少。	旅行業
	宿泊人員対前年同月比97.8%、売上97.2%と各種プレミアム宿泊券及びGoToキャンペーンの効果で回復基調。会議、宴会が全くない状況で施設の総売上は伸び悩んでいる。	旅館業 山口市
	新型コロナウイルス第3波でキャンセルが出始めている。GoToトラベルでのビジネス関連除外の報道があり、ビジネスホテル関係は平日のキャンセルが出て稼働率が下向きになった。新型コロナの影響がある現在では、GoToトラベルがなくなると急激にダウンするので、コロナ終息後にGoToトラベルが終わるのなら、なだらかな減収ですみそうである。GoToEatは人数制限がかかると宴会に響く。宿泊件数は増え、客単価は上がってきているが、1件当たりの人数が減少しており、作業が煩雑で人手もかかるため、収支は昨年より悪化している。	旅館業 下関市
	コロナウイルスの影響により11月の浴場利用者は17%の減少、収入は15%の減収となった。飲食部門は9月からテナントにしたので、仕入高と人件費の削減となっている。総売上は前年比25%減少、経費も20%の減少となり、少しずつ回復しているが、前年同等に戻るには時間が必要な模様である。ただ、次のコロナウイルスの感染拡大の状況等により不安定な状況に変わりはない。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請件240件（当支部204件）、前年同月214件（同185件）。太陽光発電への申請58件（前年62件）、オール電化申請120件（前年109件）。LED街路灯への切り替え・新設申請29件（前年33件）であった。	電気工事業
	工事の減少と受注単価の低下に苦慮する事業所が増えている。技能者の減少も更に進んでいる。総合工事業者の安値受注に拍車がかかっている。	左官業
	組合員は、年度当初の受注工事で忙しくしている。当業界従業員の高齢化と人材不足は相変わらず解消しておらず、今のところ新型コロナウイルスの感染者は出ていないが、県内の感染者も増加傾向にあるので、先行きには不安を持っている。	管工事業

	<p>上関大橋に接続部が跳ね上がるという想定できない事件事故が発生した。原因について現地での調査が行われたが、原因不明のまま、応急処理の後、車重制限とともに片側通行が続いている。関係する工事がストップし、工期が大きく遅れる見通しである。新型コロナウイルスの感染者が、隣接の岩国を中心にクラスター感染も起きており、自粛の度合いが更に大きくなると思われる。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>11月の受注高は、対前年同月 140.4%。今年度の累計は、対前年比 91.7%。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
	<p>土木工事については、コロナ禍ではあるが前年並みで推移。</p>	<p>土木工事業 長門市</p>
	<p>令和2年は、新築着工件数が減少し、リフォーム物件が増加している。</p>	<p>屋根工事業</p>
	<p>工場稼働率は確保しているが小規模物件が多い。来年以降の見積も減少している。</p>	<p>鉄骨・鉄筋工事業</p>
運輸業	<p>新型コロナウイルスの影響により輸送量は前年同月比18%強のマイナス。国内向けは横ばい。国外向けは3%弱のプラス。燃料費は前月と同額で、運送経営者にとって重くのしかかっている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>組合の売上は昨年並みだが、輸送取扱高（組合取扱い）はまだ20%程度の減少。幾分、回復の兆しを見せていたところ、欧州を主として新型コロナウイルスは再拡大しており、見通しは立たない。燃料費は低値水準で推移しているが、このところ原油価格は上昇している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>取引先製造業の稼働率が上がってきているようである。新型コロナウイルスの影響もいったん底をつき、少しではあるが回復の兆しが見えてきている感がある。年末にかけて、クリスマス・年末年始商戦の物品保管も増加となることが予想される。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>



	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲37.0%（令和2年10月1日～令和2年11月20日分）。10月1日～31日分は▲31.6%、11月1日～20日分は▲44.7%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。10月分については、周南▲33.5%，下松▲44.8%，光▲31.9%，防府市地区が▲29.0%で、組合員の全域では▲34.2%、地区外（員外）+5.6%（山口地区早着化）、合計▲31.6% ▲6,431千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。CPが上がり（前月367.5\$/トンが今月410.0\$/トン、前年440.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は下がり（前月341.0\$/トンが今月340.0\$/トン、前年591.0\$/トン）。為替は円高（前月106.76円/\$が106.27円/\$）。燃料単価は前月プラス2円/ℓ(+3.2%)となったが、前年11月より▲3円/ℓ(-4.5%)。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足で車両の稼働率も下がっている。コロナウイルスの影響で需要が減少しており、せつかくの運輸局認可車両台数だが、減車に踏み切る事業者も出てきた。現金利用の多い個人利用客はもう少し回復しているようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などを自粛されており、まだ前年比：▲37%。特に夜間の飲食関係はまだまだ時間がかかりそうに思われる。10月に比べ少し回復しているようにも思えるが、忘年会等で需要が増加する年末は、たいへん厳しくなると予想される。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>新規取り扱い貨物は順調に推移しているが、新規分を除いて対前年同月比で評価すると、取扱高の減少により売上高が減少している。</p>	港湾運送業
その他	<p>無事に外国人技能実習生の入国が始まった。いよいよ回復に向けて始動する。</p>	介護事業